

和名	分類	特徴ほか	会える場所											
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
ヒカゲチョウ	タテハチョウ科	比較的明るい色調 陽性のクロヒカゲ	x	○	○	全国								
			成虫発生時期 (月)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
			メダケ、クマザサほか (イネ科)		2~3		幼虫							



ヒカゲチョウ 川崎市 8月19日にch (2001年)



クロヒカゲ 川崎市 9月24日 (2011年)



川崎市 6月14日 (2015年) 葉上で占有行動する♂



長野県松本市 8月9日 (2020年) ♀



ヒカゲチョウ 多摩川河川敷 9月7日 (2021年) Photo Henk

クロヒカゲ同様にハイムや多摩川土手にはいません。生田緑地のクヌギ、コナラなどの樹液に集まったり下草の葉上にとまったりしていますが、クロヒカゲに比べるとやや日当たりのよい場所を好むようです。生息している場所も羽模様も似通っていて色調の濃淡は個体により違うので、飛んでいるところだけでは、ヒカゲチョウかクロヒカゲかはっきりとはわかりません。左の写真の上がヒカゲチョウで、その下がクロヒカゲです。よく似てるでしょう？ただ、クロヒカゲと違って、ヒカゲチョウは日本固有種です。

(補足)

中野島周辺の多摩川土手には「x」(いない)としていましたが、2021年に右下の写真が撮影され、新鮮な個体であることから多摩川は「○」でよいと思います。また、実際にはハイムでも目撃され写真もあるのですが、羽が傷んでいるので偶発的な飛来と見た方がよいでしょう。